

## 報道資料(プレスリリース)

会社名：有限会社 楽園の果実 2022年1月25日

### 「宮古島農産物の一次加工による地元農産物の地産地消の推進」 沖縄県の経営革新支援制度に認定

「宮古島農産物の一次加工による地元農産物の地産地消の推進」はこの度  
沖縄県より経営革新支援制度に認定されたことをお知らせします。  
今回の認定を機に、宮古島の環境や資源を大切にするとともに、宮古島農産物の  
持続可能な生産と消費のモデルを構築し、地域経済の発展に貢献していきたい  
と思います。

#### 既存事業の概要

2002年3月設立。農家レストランとして有機野菜・果物、宮古島の食材など使  
った飲食メニューの提供、有機マンゴーの販売、ジャム、ゼリーなどの加工品  
製造販売を行っている。



#### 新規事業の概要

弊社では、野菜農家が、生産したB級品（いわゆるハネ品）を買取1次加工  
して、給食センター向けに納品したり、加工野菜を必要としている高齢者施設、  
病院、ホテル等に納品できる様に営業活動し、将来的にはセントラルキッチン  
で惣菜製造し、高齢者施設、病院、ホテル、飲食店、保育園向けなど、ニーズ  
にあった調理で提供し比較的コロナウイルスの影響を受けにくい、  
BtoC から BtoB 事業を強化していく。

## 将来に向けて

野菜農家が生産した B 級品を買い入れるところが現状少なく、生産量の多い農作物は生産ピークの時期には供給過多で売れない状況が続き廃棄せざるを得ない状況である。宮古島市の農業政策でも「6 次産業化の推進、農家所得の 10% 向上」が出されている。宮古島農産物の一次加工を軌道にのせることで、コロナ禍により減少した業績を回復することに加え、既存事業との相乗効果による「地産地消の推進」により事業継続を図ることで SDG s の 12 のつくる責任、つかう責任に繋がり持続可能な消費と生産のパターンを確保する事で地域の経済効果に貢献できる。

つきましては、ぜひ、貴番組・貴紙にて取材の程、宜しくお願いします。

### 1. 【顧客ターゲット】 「地元野菜の一次加工」

詳細⇒ 給食センター・保育園・病院・高齢者施設・ホテル・飲食店

### 4. 【リリースのポイント3つ】

- ①宮古島産野菜の安定供給
- ②「地産地消の推進」で地域経済に貢献できる。
- ③宮古島の農業や自然の大切さを伝える

<以下、参考資料>

---

### ■代表者の経歴



- ・1986年 3月 日本大学芸術学部写真科卒業
- ・1988年 1月 マンゴー栽培開始
- ・1997年 4月 来間島生活改善グループ結成
- ・2002年 1月 農業生産法人 楽園の果実 設立
- ・2003年 1月 農林水産省の構造改善事業で、レストラン、SHOP、加工所などを完成、営業開始

■その他（特許・表彰など）

- 1996年 4月 ボーダーインク社から「楽園の花嫁」発刊
- 1997年 5月 「楽園の花嫁」で平良好児賞受賞
- 2013年 4月 沖縄県農林漁業賞漁村地域活性化部門受賞

<資料に関してのお問合せ先>

有限会社 楽園の果実 担当 前川カツノブ  
電話：0980-76-2991（携帯 080-3213-6615）  
FAX：0980-76-2999  
E-Mail：info@rakuen-kajitsu.jp  
HPアドレス：<https://www.rakuen-kajitsu.jp>  
住所 〒906-0306 沖縄県宮古島市下地字来間 259-2